

令和7年度 経済学部所員個人研究テーマ一覧【グローバル社会文化研究センター】

No		資格	氏名	研究テーマ
1	センター長(兼任)	教 授	安 田 静	労働者としての演者について
2	次 長 (兼 任)	教 授	坂 野 徹	科学の歴史の総合的研究
3	所 員 (兼 任)	教 授	武 廣 亮 平	1) 古代東国の「丸子部」について 2) 8世紀後半における「蝦夷」認識
4	〃	教 授	根 村 直 美	<動物>をめぐる考察とポストヒューマン・エシックス
5	〃	専 任 講 師	田 中 菜 採	レベル別速読教材を使用した速読指導の効果検証
6	〃	教 授	秋 山 孝 信	従属節内以外に生じる後方転移(non-subordinate backshift)の意味的・語用論的特性
7	〃	教 授	ト 部 勝 彦	地図の得手・不得手と地理教育での系統的地図指導に関する研究
8	〃	教 授	小笠原 祐 子	ペイドワークとアンペイドワークの国際比較ジェンダー分析
9	〃	教 授	奥 田 智	公立学校における主権者教育プログラムの実効性の検証 —小学校・中学校・高校における主権者教育の連続性に注目して—
10	〃	教 授	小 滝 一 彦	リモートワーク・二拠点生活が人口分布や産業分布に及ぼす影響について
11	〃	教 授	鈴 木 基 子	アメリカにおける中国語教育の歴史
12	〃	教 授	田 村 真奈美	英国ヴィクトリア朝文学の文化研究
13	〃	教 授	徳 永 志 織	言語景観のスペイン語教育への活用
14	〃	教 授	村 岡 哲 郎	タイミングの知覚・認知能力の定量
15	〃	教 授	藪 越 知 子	EFL学習環境における自己調整学習—英語習熟度との関係
16	〃	教 授	山 岸 郁 子	大衆文学の研究 1950-70年代を中心として
17	〃	教 授	山 森 光 陽	クラスサイズが児童生徒に影響を与える過程を明らかにするための調査・分析方法の開発
19	〃	准 教 授	位 田 将 司	1910年代から40年代にかけての日本文学における哲学・思想の影響関係の研究
20	〃	准 教 授	岡 島 慶	英語圏黒人思弁小説から英文読解能力育成の可能性を探る
21	〃	准 教 授	岡 本 奈穂子	旧東独地域の多文化社会形成過程と社会統合
22	〃	准 教 授	笠 貫 葉 子	認知言語学的視点からの比喩研究
23	〃	准 教 授	加 藤 嘉津枝	①日本人EFL学習者における中学・高校英語の定着度について ②日本人EFL学習者に対する音読指導の方法について—空読みを避けるために— ③日本人EFL大学生の英文多読—その学習効果について
24	〃	准 教 授	久井田 直 之	情意的要因を考慮した大学での英語教育
25	〃	准 教 授	越 澤 亮	サックードストラテジーによるボール到達位置予測時における視線活動と脳活動様式—実験参加者特性による比較検討—
26	〃	准 教 授	佐 藤 温	幕末社会における文人の諸相についての研究
27	〃	准 教 授	杉 藤 久 志	中世ドリーム・ヴィジョンの成立
28	〃	准 教 授	高草木 邦 人	モニュメントの比較史研究：ルーマニア自由党党首と立憲政友会総裁の比較を中心に
29	〃	准 教 授	バターフィールド・ジェフリー・リー	外来語の使用とその受容言語や社会に対する影響
30	〃	准 教 授	ハッチンソン・キャロライン	英語教育の総合的研究
31	〃	准 教 授	林 直 樹	日本語・日本語社会の実態解明
32	〃	准 教 授	姫 嶋 瑞 穂	監獄法改正事業の展開に関する実証的研究—日本型行刑の再編をめぐって—
33	〃	専 任 講 師	田 中 圭	点群データを用いた石仏群の復元に関する研究
34	〃	専 任 講 師	平 木 貴 子	測定データの即時フィードバックが自己調整学習方略の獲得に与える影響
35	〃	専 任 講 師	福 田 敦 史	自我と人格(人間)との両立問題の措定とその解明
36	〃	専 任 講 師	山 口 真 紀	研究留学生のための日本語学習教材の開発を目指した学習環境要因の調査と分析—経済・商学系、人文社会系を中心に—